

平成 27 年度予算案のあらまし



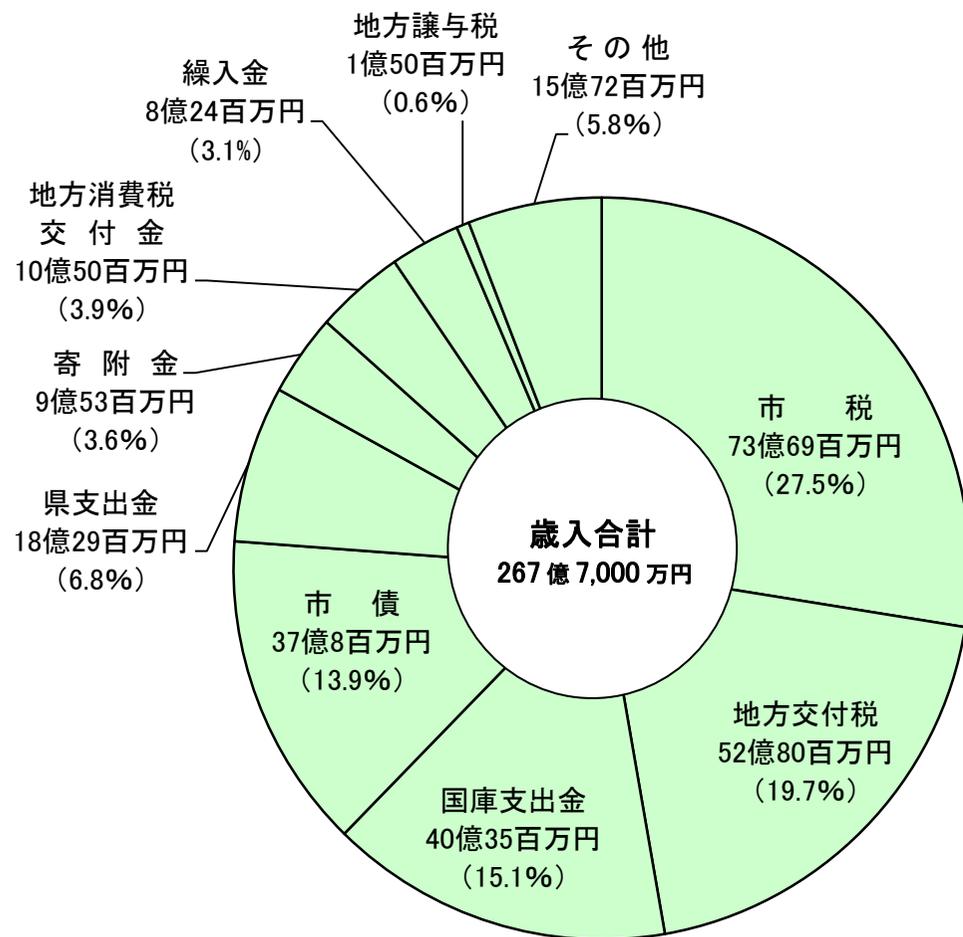
天 理 市

『平成 27 年度予算案』

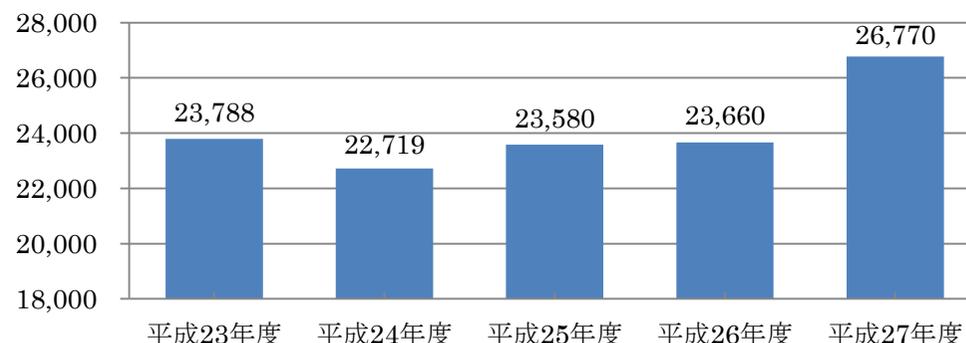
◎一般会計予算 26,770 百万円 (対前年度比 3,110 百万円、13.1%増)

◎全会計合計予算 48,119 百万円 (対前年度比 3,939 百万円、8.9%増)

『一般会計 歳入』



予算規模



〔主な歳入の状況〕

①市税

市民税については、法人市民税の増収により、前年度と比較し 33 百万円の増収を見込む。固定資産税については、新築棟数減少と家屋評価替えによる経年減価により 39 百万円の減収を見込む。

市税全体では前年度と比較し 25 百万円 (0.3%) の減少。

②地方交付税

基準財政収入額において、消費税率引上げによる地方消費税交付金の増加を見込み、前年度と比較し 3 億 54 百万円 (6.3%) の減少。

③国庫支出金

天理駅前広場等整備事業及び前栽小学校整備事業に係る国庫支出金の増加等により、前年度と比較し 5 億 87 百万円 (17.0%) の増加。

④市債

前栽小学校整備事業債及びメディカルセンター建設事業債等、普通建設事業債の増加により、前年度と比較し 21 億 9 百万円 (131.9%) の増加。

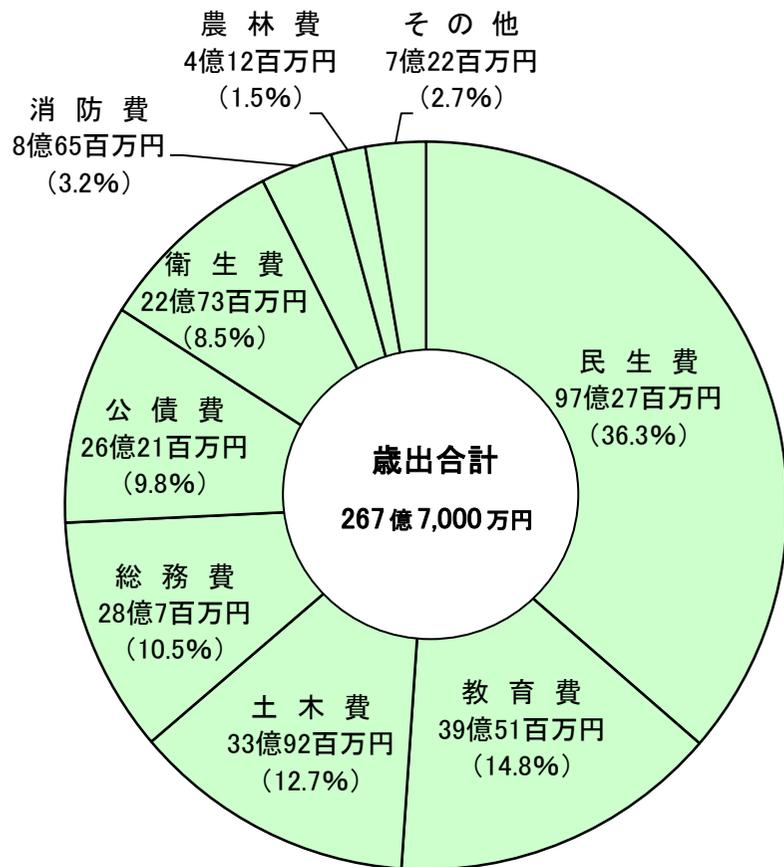
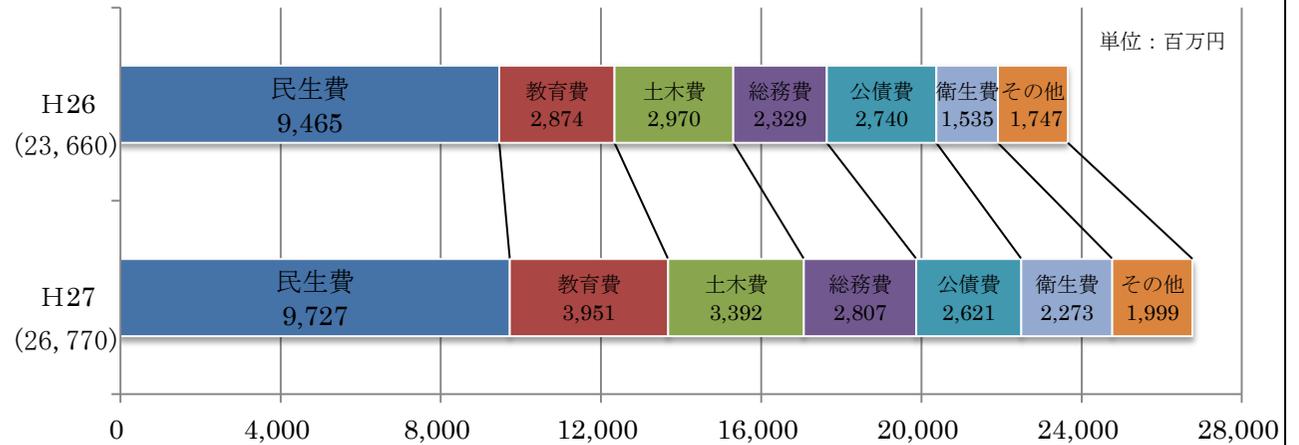
⑤県支出金

民間保育所整備事業に伴う県補助金の皆増及び保育所運営費負担金の増加等により、前年度に比べ 3 億 43 百万円 (23.0%) の増加。

⑥繰入金

財政調整基金及び公共施設整備基金の繰入金の増加等により、前年度と比較し 2 億 8 百万円 (33.7%) の増加。

『一般会計 歳出』



〔主な目的別歳出の状況〕

①民生費

民生費の予算額は97億2700万円で、前年度と比べ2億6200万円(2.8%)増加しており、歳出全体の36.3%を占めている。その内訳は、児童福祉費が43億6000万円、社会福祉費(障害福祉、老人福祉等)が41億5700万円、生活保護費が12億1000万円等となっている。

【主な増加理由】保育所運営費負担金及び障害福祉サービス等扶助費の増加並びに民間保育施設整備事業補助金の増加。

②教育費

教育費の予算額は39億5100万円で、前年度と比べ10億7700万円(37.5%)増加しており、歳出全体の14.8%を占めている。内訳は、小学校費が23億1300万円、幼稚園費が5億7300万円、社会教育費(文化財保護、公民館等を含む)が4億7900万円となっている。

【主な増加理由】前栽小学校整備工事費の増加。

③土木費

土木費の予算額は、33億9200万円で、前年度と比べ4億2200万円(14.2%)増加しており、歳出全体の12.7%を占めている。内訳は、都市計画費が27億2700万円、道路橋りょう費が3億8200万円、住宅費が8600万円、河川費が5900万円となっている。

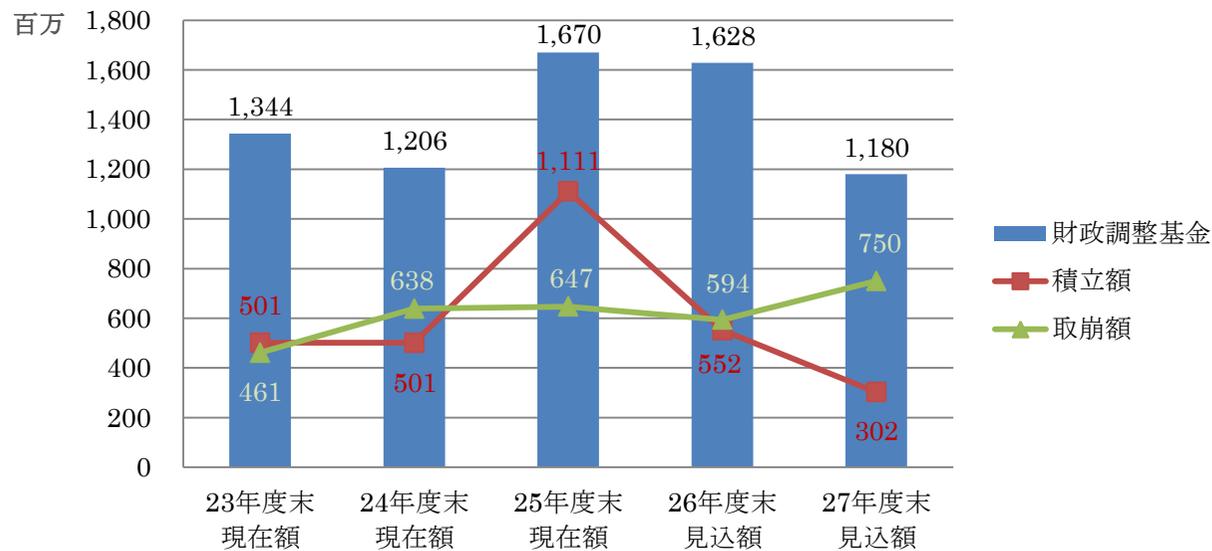
【主な増加理由】天理駅前広場等整備工事費及び道路改良工事費(北大路線)の増加。

④衛生費

衛生費の予算額は22億7300万円で、前年度と比べ7億3900万円(48.1%)増加しており、歳出全体の8.5%を占めている。内訳は、保健衛生費が13億1800万円、清掃費が9億5500万円となっている。

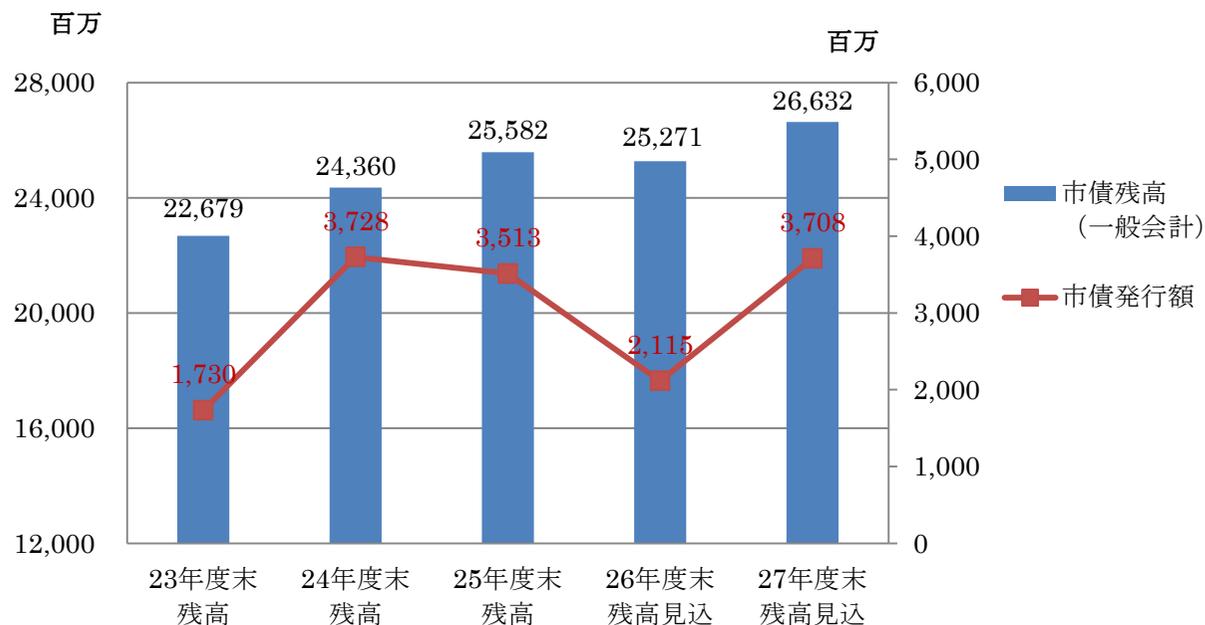
【主な増加理由】メディカルセンター建設工事費の増加。

『財政調整基金と市債』



財政調整基金

平成 27 年度財政調整基金の取崩額は 750 百万円となり、扶助費や普通建設事業費が増加したことから、前年度当初予算を 161 百万円上回ることとなった。平成 27 年度末財政調整基金の残高見込額は、1,180 百万円で推移するものと見込む。



市債

平成 27 年度市債発行額は、3,708 百万円※となり、前年を 1,593 百万円上回る発行額となった。前栽小学校整備事業、メディカルセンター建設事業及び天理駅前広場等整備事業など、普通建設事業に係る市債が増加したことが主な原因である。平成 27 年度末の市債残高は、26,632 百万円（前年度比 1,361 百万円増）で推移するものと見込む。

※ 市債発行額 3,708 百万円のうち 1,918 百万円分についてはその償還額が地方交付税により措置される予定。

『天理をもっと元気にする7つの柱』

平成27年度予算編成においては、ずっと暮らしたいと思える街・訪れる人を惹きつける街づくりのため、前年度に引き続き『天理をもっと元気にする7つの柱』を基本方針とし、特に「持続可能である将来ある街」を目指して以下の「三本の矢」に重点化した予算編成を行いました。

重点項目 三本の矢

- 壺の矢 にぎわいがつながる街づくり
- 弐の矢 少子高齢化社会に対する積極的な取組
- 参の矢 行政改革の推進

単位：千円

① 命を守り、誰もが安心して暮らせる街づくり

| | | |
|-----|---|-----------|
| | ① 防犯対策（防犯灯設置補助） | 2,400 |
| | ② 障害者自立支援費 | 1,236,848 |
| | ③ 地域支え合い事業(高齢者福祉) | 13,051 |
| 弐の矢 | ④ 地域包括ケアシステム推進事業 新規 (マイプランノート配布事業・健康マイレージ事業・ボランティアポイント事業) | 1,366 |
| | ⑤ 障害児施設通所事業 | 212,398 |
| 弐の矢 | ⑥ 子ども医療費助成 | 98,002 |
| | ⑦ 児童手当の支給 | 1,186,200 |
| 弐の矢 | ⑧ 学童保育の実施 | 85,647 |
| 弐の矢 | ⑨ 子育て支援事業 | 21,842 |
| 弐の矢 | ⑩ 妊産婦健康診査助成 | 47,880 |
| 弐の矢 | ⑪ 子宝支援助成（不妊治療助成） | 1,250 |
| | ⑫ ひとり親家庭等医療費助成 | 40,442 |
| | ⑬ 介護予防事業 | 14,894 |
| | ⑭ 各種予防接種、子宮頸がんワクチン等接種事業の実施 | 133,045 |
| 弐の矢 | ⑮ メディカルセンター建設・管理事業 | 785,287 |
| | ⑯ 特定健診、肝炎検診、各種がん検診等の実施 | 24,279 |
| | ⑰ 精神障害者医療費助成 拡充 | 26,025 |
| | ⑱ 浸水対策及び河川改修事業 | 51,590 |
| | ⑲ 災害対策（非常備消防事業、消防団ポンプ車・備蓄物資購入等） | 66,381 |
| | ⑳ 水道料金（口径20mmの最低料金）の見直し | — |

④地域包括ケアシステム推進事業 1,366千円

マイプランノート配布事業

地域包括ケアシステムの推進を目指す取り組みとして、マイプランノートを作成し、普及に努めます。

マイプランノートとは、自分自身がどう生きるかの想いを書きとめるための冊子で、人生を振り返り今後の計画を立てることで、本人らしい人生を考える機会をつくるためのものです。またノートには介護や医療の社会資源に関する情報等についても掲載し、高齢になっても安心して暮らしを続けることができるよう支援します。

健康マイレージ事業

がん検診を受診したり、日々の運動や食生活の改善等健康に関する講座やスポーツ教室等、様々なイベントに参加した市民に特典を付与し、健康づくりに対する意識の高揚を図ります。

ボランティアポイント事業（介護保険特別会計）

高齢者の方が、介護施設等でボランティア活動を行い、その実績に応じてポイントが得られ、ポイントに応じた特典が付与される制度を開始します。社会参加をすることによって、心身ともにより元気になることを目的として実施します。

⑳水道料金（口径20mmの最低料金）の見直し

メーター口径20mmの水道料金について、昨今の核家族化や高齢者世帯の増加等により水の使用量が減っていることから、生活支援対策として、平成27年7月分から最低料金の水量を20㎡から12㎡に引き下げます。

（最低料金を税込4,039円から2,484円に引き下げます。）

② 未来を担う子どもを育む街づくり

| | | |
|-----|----------------------------------|-----------|
| | ① 安全・安心のまちづくり事業 | 4,110 |
| | ② スクールサポート活用事業 | 6,720 |
| | ③ 特別支援教育支援員の配置（小中学校） | 16,275 |
| | ④ いじめ防止対策推進事業費 | 767 |
| | ⑤ 地域の豊かな社会資源を活用した多様な教育活動支援事業 | 430 |
| 武の矢 | ⑥ 「ちきゅうの教科書」授業推進事業 新規 | 700 |
| 武の矢 | ⑦ 「ふれあいコンサート」の開催 新規 | 320 |
| | ⑧ ALT（英語指導助手）招致事業（小・中学校に各1名） | 9,959 |
| | ⑨ 不登校、ひきこもり対応（適応指導教室、学科指導教室の充実等） | 8,359 |
| 武の矢 | ⑩ 児童・生徒の休日授業 新規 | 167 |
| 武の矢 | ⑪ 小中学校及び幼稚園改修事業 | 46,780 |
| 武の矢 | ⑫ 前栽小学校整備事業 | 1,766,374 |
| 武の矢 | ⑬ 丹波市小学校・福住小学校校舎耐震補強事業 | 57,554 |
| 武の矢 | ⑭ 山の辺小学校屋内運動場・プール改修事業 | 13,970 |

⑥ 「ちきゅうの教科書」授業推進事業 700千円

月1回、冒険家、探検家、山岳家、生物学者など様々な自然を知り尽くした講師を招いての「ふれあい授業」「語り合い授業」を実施します。また月2回、海外の小中学校や、それに準ずる施設などから小中学校の教室とをインターネットテレビ電話を使用しての交流授業を実施することにより、学習意欲の向上、キャリア教育の推進を図ります。



⑩ 児童・生徒の休日授業 167千円

天理市の青少年の健全な育成を図るため、社会教育や学校教育の内容を補完する為の教育講座を開催します。

具体的には、天理市在住の小学4年生から中学生までを対象とし、公民館を利用した休日での学習教室を月2回開催します。1クラスは20～30人程度とし、モデル的に行います。

③ にぎわい、つながる街空間づくり

| | | |
|-----|----------------------------------|---------|
| 志の矢 | ① 街づくり協議会実施事業 | 6,011 |
| 志の矢 | ② エリアマネジメント構築支援事業 新規 | 2,000 |
| 志の矢 | ③ 定住自立圏構想推進事業 新規 | 699 |
| | ④ コミュニティバス「いちょう号」運行 1日5便 | 9,511 |
| | ⑤ デマンド型乗合タクシー「ぎんなん号」運行 | 12,270 |
| | ⑥ 都市計画道路変更資料作成事業 | 1,075 |
| 志の矢 | ⑦ 立地適正化計画策定事業 新規 | 7,701 |
| | ⑧ 橋りょう点検調査事業 | 10,000 |
| | ⑨ 道路・街路整備事業（北大路線、勾田櫛本線、別所丹波市線 他） | 453,852 |
| | ⑩ 公園整備事業 | 27,890 |
| | ⑪ 山の辺第一工区土地区画整理事業 | 225,000 |
| 志の矢 | ⑫ 駅前広場等整備事業 新規 | 562,731 |

② エリアマネジメント構築支援事業 2,000千円

天理駅前広場等整備後の天理駅前・周辺のにぎわいづくりや、新施設の継続的な管理・運営について、市民や地域団体等が主体となった管理・運営体制づくりに向けて、にぎわいづくり・まちづくりの意識醸成を行うための勉強会を実施します。行政や市民、地域団体等を対象とし、年4回程度開催する予定です。

③ 定住自立圏構想推進事業 699千円

『定住自立圏構想』とは、一定の要件を満たす「中心市」と「近隣市町村」が、相互に役割を分担し、連携・協力することにより、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する自治体間連携の新たな取り組みです。

天理市は、県内で唯一「中心市」の要件を満たしており、昨年12月に『中心市宣言』を行いました。今後は、連携の意思を有する近隣市町村と1対1で「定住自立圏形成協定」を締結し、具体的な連携事業に関する「定住自立圏共生ビジョン」の策定に取り組んでいきます。

④ 天理の強みを活かした産業の活性化

| | | |
|-------|---|---------|
| ① | 特産品開発事業 | 240 |
| ② | 経営所得安定対策直接支払推進事業 | 5,132 |
| ▶ 木の矢 | ③ てんりマルシェ実施事業 新規 | 1,500 |
| ④ | 水と農地活用促進事業、市単独土地改良事業、諸土地改良事業 | 181,358 |
| ⑤ | 農村総合整備事業 | 49,425 |
| ▶ 木の矢 | ⑥ 商工業振興（商店街活性化事業補助・中小企業金融対策） | 14,464 |
| ▶ 木の矢 | ⑦ 企業立地支援事業（工場等設置奨励金、雇用促進奨励金等） 新規 | 63,879 |

③ てんりマルシェ実施事業 1,500千円

平成26年度に奈良県がモデル事業として実施した「天理マルシェ」について、平成27年度は、昨年からの内容を踏襲しつつ、より地元地域に密着した本市農林業をはじめとする産業の振興並びに奈良県全体の広域的な産業の発展に資する広報活動を展開するため、本市事業として行います。



⑤ 天理の強みを活かした街の魅力づくり

| | | |
|-------|----------------------------|---------|
| ① | 行政情報配信サービス事業 | 1,167 |
| ▶ 木の矢 | ② ムジークフェストなら開催補助 新規 | 500 |
| ③ | 「光の祭典」実施事業 | 2,600 |
| ④ | 「てんりなまつり」実施事業 | 4,000 |
| ⑤ | 観光物産センター運営事業 | 5,384 |
| ▶ 木の矢 | ⑥ 観光物産センター整備事業 新規 | 132,439 |
| ▶ 木の矢 | ⑦ 観光振興（てくてくてんり観光イベント等） | 8,439 |

② ムジークフェストなら開催補助 500千円

平成24年から奈良県主催で開催されている「ムジークフェストなら」は、クラシックを中心に国内外の多種多様な音楽にスポットを当て、世界レベルのオーケストラから、地元の市民音楽家までが参加する奈良県的一大イベントです。

音楽活動が活発である本市においても、平成27年度から積極的に参加し、音楽祭とともに地域の活性化にもつなげていきます。



⑥ 市民・地域との協働の街づくり

| | | |
|---|-----------------|--------|
| ① | タウンミーティングの実施 | — |
| ② | 多世代ふれあい交流事業補助 | 1,800 |
| ③ | 校区区長会運営交付金 | 24,483 |
| ④ | 自主防災組織補助 | 810 |
| ⑤ | ボランティアセンター運営事業 | 4,786 |
| ⑥ | 学校・地域パートナーシップ事業 | 6,500 |

⑦ 真に市民に貢献できる柔軟で持続可能な行政運営

| | | |
|-------|--------------------------|-------|
| ▶ 木の矢 | ① 行政改革プログラム2011の実行 | — |
| | ② 市議会ホームページ、本会議ライブ映像等の配信 | 2,907 |
| ▶ 木の矢 | ③ ファシリティマネジメント推進事業 | 1,519 |
| ▶ 木の矢 | ④ 未収金対策支援事業 | 1,500 |

『主要な建設事業の概要』

○メディカルセンター建設事業

事業費 783,760千円

「命を守り、誰もが安心して暮らせる街づくり」の一環として、市立病院跡地に診療、休日応急診療、健診、地域包括ケアという予防から医療・介護との連携までを担う総合的な拠点としての機能を持った施設として、天理市立メディカルセンターを整備します。



(財源)

| | |
|------|-----------|
| 市債 | 780,700千円 |
| 一般財源 | 3,060千円 |

○観光物産センター整備事業

事業費 132,439千円

(県市まちづくり連携推進事業)

現在の天理駅構内にある観光物産センター（ナビ天理）を、隣接する南団体待合室にまで拡充し、観光や地元特産品のPR、商工業等の情報発信拠点としての機能を有する魅力ある空間の整備と充実を図ります。



(財源)

| | |
|------------|----------|
| 国庫支出金(40%) | 48,000千円 |
| 市債 | 64,800千円 |
| 一般財源 | 19,639千円 |

※奈良県との連携事業であることから、原則次年度以降に市債償還額のうち交付税算入額を差し引いた額の4分の1が県より補助されます。

○天理駅前広場等整備事業 (県市まちづくり連携推進事業)

事業費 562,731千円

天理市の玄関口である天理駅周辺の活力とにぎわい創出のため、天理駅前広場の再整備を行います。駅前広場のイベントスペース、修景施設を見直すとともに、オープンカフェ等の休憩施設、子ども遊具や健康遊具、親水施設、ステージ等を複合的に設置し、多世代の市民や来訪者が憩い集える場の提供と本市の魅力を発信できる拠点としての空間整備を図ります。

(財源)

| | |
|------------|-----------|
| 国庫支出金(40%) | 174,147千円 |
| 市債 | 279,900千円 |
| 一般財源 | 108,684千円 |



※平成27年度～28年度の2か年事業
(H28債務負担行為額 720,047千円)

※奈良県との連携事業であることから、原則次年度以降に市債償還額のうち交付税算入額を差し引いた額の4分の1が県より補助されます。

○前栽小学校整備事業

事業費 1,766,374千円

前栽小学校は昭和45～56年に建設された建物で、経年による建物の老朽化が著しく、また災害時の避難所に指定されていることから、新增改築工事を実施することにより、児童の安全、及び災害時の避難所としての機能を保持することを図ります。また児童の急増により建設したプレハブ校舎の解消や、地域の交流場所として利用することもできる多目的室を設置する等、総合的な教育環境施設として整備を行います。

(財源)

| | |
|----------------|-------------|
| 国庫支出金(1/3～1/2) | 371,623千円 |
| 市債 | 1,183,000千円 |
| 公共施設整備基金 | 50,000千円 |
| 一般財源 | 161,751千円 |



※平成25年度～28年度の継続事業
(H28債務負担行為額 266,256千円)